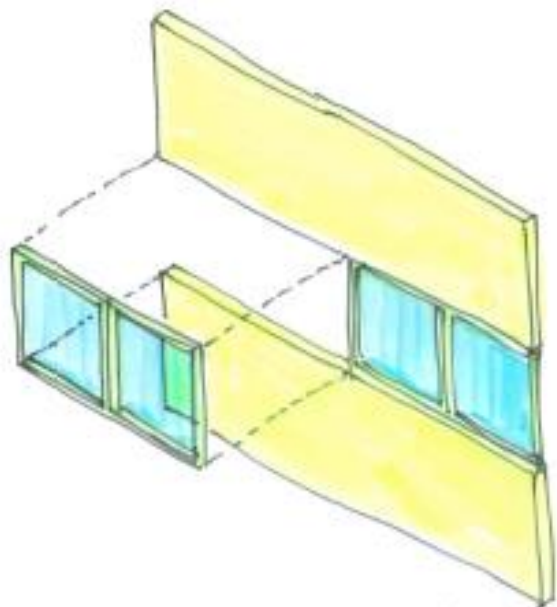
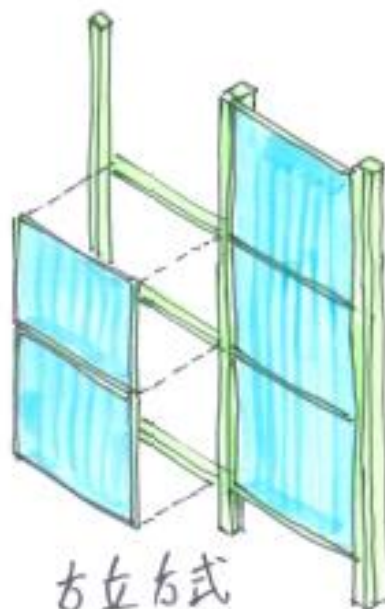


V 施工(19. 外装工事) ①カーテンウォール工事

- PCカーテンウォールの取付け方法は、**層間変位**に追従できるように、**ロッキング(回転)**方式とした。
- 層間変位を吸収するための**スライドホール**部は、手締め程度の**ボルト締め**とし、**緩止め**を施した。
- カーテンウォール部材の**仮止め**は、パネル材で3か所以上、型材で2か所以上とし、脱落しないように固定した。
- カーテンウォール工事の取付け位置における目地の幅の寸法許容差は、**±3mm**とした。
- カーテンウォール工事における取付け方式のうち、**スパンドレル方式**とは、腰壁部分と下がり壁部分とを一体化した部材を、同一階のはり又はスラブに取り付ける方式である。



スパンドレル方式



直立方式